

第49回小金井市新型コロナウイルス感染症等対策本部部会	日 時	令和2年12月22日(火) 10:00～11:00	場 所	議 場
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長 天野企画財政部長、高橋庁舎建設担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、北村議会事務局長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、梅原企画政策課長、廣田広報秘書課長、内野職員課長、畑野人事制度担当課長、石原健康課長、昌谷健康課主任			
議 題	1 新型コロナウイルス感染症 小金井市対応方針について 2 年末年始の対応について 3 市長メッセージについて 4 新型コロナウイルスワクチン接種について 5 各部連絡事項			
資 料	1 年末年始に関する分科会から政府への提言 2 12月17日都知事記者会見資料 3 市長メッセージ(市報1月1日号) 4 第1回新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業に関する自治体向け説明会議事次第 5 資料1 新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保について 6 資料2 V-SYS について 7 資料3 各ワクチンの取扱いについて 8 新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き(初版)			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>市長：昨夜、小池都知事の記者会見も行われ、きわめて深刻な事態である旨が発表されている。東京都医師会等医療機関からも緊急メッセージ等が出されている中、小金井市においても、年末年始の体制等について、連絡体制等も含め、よく協議して欲しい。市民の皆様にも最大限の感染防止をして頂くべく、様々なツールを使って呼び掛けていく。12月13日には小金井市独自の発熱者検査センターが開業し、年末年始に備えた体制を整えている。先週金曜日にアーティスト支援に関する動画がホームページにアップされているので、ぜひご覧いただきたい。緊張感をもってこの年末年始を乗り越え、新年を迎えてほしい。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症 小金井市対応方針について】 企画制作課長：新型コロナの長期化に伴い、今後ある程度長期間を見据えた対応方針に変えていくという検討もしているが、取り組みの具体性が見えにくくなる可能性がある。そのため、これまでのスタイルを継続し、具体的な支援策の実現に向けて準備しつつ、対応方針にまとめていく予定である。今年度中にも新たな対応方針の公表ができるよう準備を進めているので、たたき台ができたらご意見等いただきたい。</p> <p>【年末年始の対応について】 職員課長：所属職員の体調管理については、年末年始も同様の対応とし、その状況について所属長が把握できるよう、連絡体制を整えること。所属職員が体調不良の場合は医療機関や発熱相談センター等に電話相談するよう促すこと。職員のPCR検査陽性の場合の連絡は所属課長⇒所属部長⇒総務(学校教育)部長⇒職員(庶務)課長とする。職員にも年末年始の過ごし方についてC-navi等を通じて周知する。 総務部長：PCR検査のみならず抗原検査等による感染判明の場合にもこのルートにのっとった対応を頂きたい。年末年始の報道機関への対応については、公表基準等と照らし合わせつつ、別途検討したい。 市長：学校や保育園等各施設における対応についても、年末年始想定されることについて検討をお願いしたい。 副市長：医療機関の状態がひっ迫していること、年末年始の過ごし方を喚起したいという小池知事の会見があったが、年末年始については「家族でSTAY HOME」と呼びかけられている。我々もきちんと連絡体制をとって年末年始にあたる必要がある。年末年始の危機管理の整理をお願いしたい。</p> <p>【市長メッセージについて】 市長：市報こがねい1月1日号において異例ではあるが、1面を活用し、新型コロナウイルス感染拡大防止について周知したい。新春市民の集いも中止になり、動画にてオンライン配信する。動画の中でも感染拡大防止のメッセージを発信したいと考えている。</p> <p>【新型コロナウイルスワクチン接種について】 健康課長：令和2年12月18日にWEBにて厚生労働省の説明会が実施された。その資料と初版の手引き(案)を配布した。説明会でも厚労省から、すべての事業をできる限りコロナワクチンの方に傾けて、日本全国一丸となってワクチン接種を成し遂げてほしいという趣旨の挨拶もあった。予算・システム・接種会場手配・ワクチン管理・市民対応等、様々な業務が想定される。現在健康課に福祉保健部内から応援に来ても</p>				

らっているが、更に全庁を挙げての業務協力体制の構築が必要になってくるので、ご協力願いたい。

福祉保健部長：初版の手引きに今後の業務が記載されているが、第3章～4章が自治体が行う事前準備の説明になる。予防接種実施計画、自治体における人員体制・相談体制の確保、接種医療機関の確保・調整、契約事務、ワクチンの流通、印刷物の準備、費用請求支払、住民への情報提供等の準備が想定され、接種の流れにつながっていく。1月2月の2か月でこれらの準備業務を実施しなければならない。「接種の準備にあたっては、予防接種業務主管部署の平時の体制で想定している業務量を大幅に上回る業務量が見込まれるため、組織・人事管理などを担う部署も関与した上で、全庁的な実施体制の確保を行う」（厚生労働省手引き P12）こととされおり、全庁を挙げた対応が必要。接種従事者についても、庁内の保健師・看護師に総動員をかけることになることが想定されるため、本来の事業が大きく変更される可能性を予見しておかなければならない。医療器具等の準備についても専門的な知識が必要となることから、保健師等を含めたプロジェクトチームの編成をしていく必要がある。総務部や人員管理を行うセクションを含め検討し、総合的に早急な全庁的的人员体制の構築を年内に整えるのが最低条件。庁内の調整会を開いて、適切な人員配置について協議をしていきたい。予算措置等についても、まだ見えていないことが多いが、早急に対応する必要がある。

総務部長：ワクチン接種の主管課からどんな事務が想定されてどのような人がどのくらいの人数欲しいというものがあつたほうが話が進みやすい。簡単なものでいいので、優先順位に沿ってまとめてもらい共通認識を持ったうえで検討にあたりたい。

福祉保健部長：担当課長のもと、予算会計、システム、接種会場、ワクチン管理、市民対応の5本を柱にして、これらが一斉に走りださないといけない状況であると認識している。

総務部長：実務担当・主管課が想定する業務や他市状況等に基づいて業務内容を詰めていってほしい。協力は惜しまないので健康課がしっかりと引っ張って行ってほしい。

福祉保健部：全庁的にBCP、人員配置についてもご理解・ご協力を頂きたい。

【各部連絡事項】

生涯学習部長：成人式の実施について、現時点では実施としているが、今後国・都・近隣市等の動向も見つつ、小金井市としての対応を検討していきたい。

以上